

五小訓 「お元気三猿」をもとに

- ほんものをしっかりと見る目
- 自分の考えをしっかりと話せる口
- 先生やお友だちの話をよく聞く耳



去年は「あこや町や松波など第五地区に猿が出没した！」との情報が行き交い、「途中で
お猿さんにあっても石を投げたり、大声を出したりしないように」と、見守り隊の皆さんと
連携して下校指導をすることがありました。

今年申年ですが、第五地区には一足先に猿が訪れていたのです。

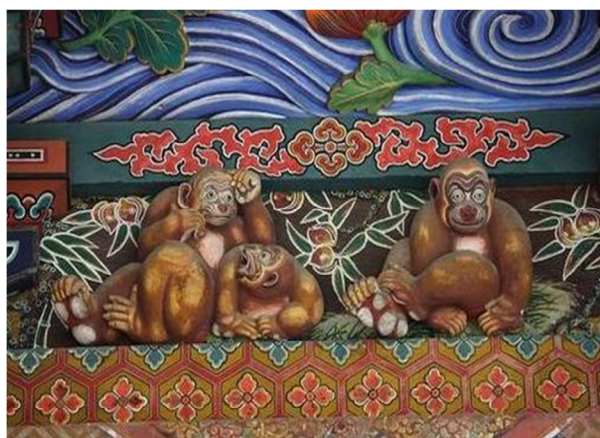


「見ざる 聞かざる 言わざる」

さて、栃木県日光市の神社（日光東照宮）にある「見ざる、
聞かざる、言わざる」の三猿の彫刻は有名ですが、埼玉県秩父
市の秩父神社には、「お元気三猿」と呼ば
れる三猿の彫刻が飾
られていることをご

存知でしょうか？

この彫刻は、日光の三猿と同じ徳川時代につく
られたそうですが、それぞれの猿は、目や耳や口
を手で覆うことはせず、しっかりと見開いていま
す。この三猿の「よく見て、よく聞いて、よく話そう」
という仕草やそのにこやかな様子に、訪れた人た
ちは元気をもらえるというので、いつしか「お元
気三猿」と呼ばれるようになったそうです。



「お元気 三猿」(秩父神社)

人はいろいろな人と関わり合いながら生きています。自分の都合で見なかったり聞か
なかったり、何も話さなかったりするのであればお友達はできません。誰かが困っていれば
「どうしたの」と優しく声をかけたり、悩みを聞いてあげたりする勇気と優しさも必要です。

本校の子ども達には、この「お元気三猿」のように、①本物をしっかりと見る「目」②先生
やお友達の話をよく聞く「耳」③自分の考えをしっかりと話せる「口」を持ち、自分自身でしっかりと考え
て行動できる人になって欲しいと考えています。

始業式では、代表児童の2名が、「算数の文章問題」と「読



めあて発表をする児童代表

み聞かせの係」に力を入れたい、
(2年児童)、「国語の説明文の
読解」と「スキー」、そして「人
のために役立つことをしたい」
(4年児童)とそれぞれ3学期
に向けてめあて発表をしました。



「よく聞く耳」で話を聞く子ども達

平成27年度(後期) いじめ調査結果のお知らせ



今年度後期(11月)の集計結果についてお知らせします。前期より事案数が多くなっており、保護者の皆様には不安を感じておられるかと思えます。アンケートの調査結果から一つ一つの事案を丸ごと受け止め、児童の心の中にある悩みやストレスを払拭するべく、児童との個人面談や学級指導等を通して指導してまいりました。また、保護者の皆さんから「いじめがある」と回答いただいた事案については、保護者面談や電話等で経過並びに結果についてお知らせしております。

「居心地のいいあたたかい学校」として環境づくりに重点を置いておりますが、「いじめは、いつでもどこでも起こる可能性がある」ことを胸に刻んで、今後とも指導にあたってまいります。アンケート期間に限らず、いじめにつながる行動や言動等、何か気になるようなことがありましたらいつでもお知らせ願います。



(1) 児童アンケートから

番号	いじめの内容	されている(後期)	されている(前期)
1	冷やかされたり、からかわれたりする	8	7
2	悪口やいやなことを言われる	17	20
3	こわい言葉やおどかさ言葉を言われる	8	1
4	友達や周りの人から仲間はずれにされたり、しらんぷりしたりされる	12	7
5	わざと軽くぶつけられる	9	4
6	遊ぶふりをして軽くたたかれたり、けられたりする	14	2
7	ひどくぶつけられたり、たたかれたり、けられたりする	2	2
8	お金を持ってこいと言われたり、おごるように言われたりする	1	0
9	持ち物をよこせと言われる	0	0
10	お金や持ち物をかくされたり、ぬすまれたりする	4	2
11	お金や持ち物をこわされたり、捨てられたりする	1	0
12	いやなことやはずかしいこと、あぶないことをされたりむりやりさせられたりする	5	2
13	パソコンや携帯電話・スマートフォンなどで、悪口を書かれたりいやなことをされたりする	0	0
14	上記以外でいじめられていると感じること	4	1
合 計		85	48

(2) 保護者アンケートから



- ◆ 「いじめ」の行為を受けていると回答した数・・・・・・・・・・・・・・・・ 15通
- ◆ 「わからない」との回答ながら「いじめ」の内容が含まれていた数・・・ 9通
- ◆ 主な記載内容 <気になることや要望等>

◆昆虫を持って追いかけられる等、人によって嫌なことがある。個性も含め人の気持ちを受け止められる指導を！ ◆我が子がいじめを受けた時、どう対処できるか不安！ ◆「元気・活発、何でもハイ」が全て「良」ではない、おとなしい子や自己表現が苦手な子をマイナス評価にせずフォローを！ ◆人の容姿をバカにしてはいけないことを改めて指導を！ ◆ヒソヒソ話をするような環境を改めて！ ◆「うざい」等、傷つける言葉は許さずに！ ◆悪いことをしたらしっかりと謝らせるべき！